

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局 地方整備課

担当課長名： 高橋 守人

事業名	主要地方道 当別浜益港線 <small>どうべつはまますこうせん</small>	事業区分	地方道	事業主体	北海道
起終点	自：北海道石狩郡当別町青山 至：北海道石狩郡当別町青山奥二番川 <small>ほっかいどういしかりぐんどうべつちやうあおやま ほっかいどういしかりぐんどうべつちやうあおやまおくにばんかわ</small>			延長	16.8 km
事業概要	主要地方道当別浜益港線は、国道275号を起点とし国道451号へ至る約3.9kmの路線であり、札幌市方面から留萌市方面へ向かう国道231号の補完ルートとなる重要な幹線道路である。本事業は当別ダム建設に伴い改良・拡幅整備を実施し、石狩市浜益区・厚田区から生活基盤の中心である石狩市街地への代替路を形成することで、安全で安心できる交通ネットワークの確保に大きく寄与するものである。				
H9年度事業化	H 年度都市計画決定	H9年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	約64億円	事業進捗率	50%	供用済延長	3.5km
計画交通量	2400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) : 1.2 (残事業) : 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 36/68億円 事業費：25/53億円 維持管理費：12/15億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 58/78億円 (走行時間短縮便益：58/77億円 走行費用減少便益：-0.33/0.73億円 交通事故減少便益：0.02/0.07億円)	基準年 平成18年	
感度分析の結果	交通量変動：B/C=1.3 (交通量 +10%) B/C=1.0 (交通量 -10%) 事業費変動：B/C=1.1 (事業費 +10%) B/C=1.3 (事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=1.1 (事業期間+20%) B/C=1.2 (事業期間-20%)				
事業の効果等	・個性ある地域の形成（主要な観光地「道民の森公園」へのアクセス向上が期待される） ・災害への備え（緊急輸送道路「国道231号」の代替路を形成する） 外3項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見	石狩地方開発促進期成会や地元の当別町などから毎年道路整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業採択時より再評価実施時までの周辺環境の変化は特にない。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成18年度までに、用地補償96%、改良工事30%、舗装工事22%、橋梁工事27%進捗し約3.5kmを供用している。残事業は、改良工事約11km、舗装工事約13km、橋梁工事11基である。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	ダム事業の工程を踏まえ本事業の工程を再検討した結果、完成予定が平成23年度となったが、用地補償については平成18年度現在で96%進捗しており、今後事業が遅延するような大きな課題も特にないことから、平成23年度の完成が見込まれる。				
施設の構造や工法の変更等	道路構造規格の見直しや、再生資源（舗装合材、路盤材等）の使用、現場発生すきとり土を法面植生工に利用するなどコスト削減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。